

令和5年度 上富田町立 市ノ瀬小学校（学校経営方針）スクールプラン

上富田町「めざす子ども像」

- すすんで考える子
- 心豊かに活動する子
- 体をきたえる元気な子
- ふるさとを誇りに思う子
- 視野を広くもつ子

保護者・地域の願い

- 学力を向上させてほしい
- 明るく楽しい学校にしてほしい
- 仲良くできる子どもに育ててほしい
- 地域に誇りをもってほしい
- より良い学習環境で学ばせたい

【学 校 教 育 目 標】

知・徳・体の調和がとれ、
たくましく生きる子どもの育成

【めざす児童像】～かしくやさしくたくまい子～

- ・すすんで考え、自ら勉強する子
- ・思いやりがあり、正しく行動できる子
- ・根気強くやり抜く子
- ・体をきたえ、健康・安全に気をつける子

前年度の学校評価

- コロナ禍の中子供たちが安心できる対策をし、行事・取組を行っている
- 読書・タブレット活用の推進を継続
- 学力向上継続・生活指導の充実

児童（生徒）の実態

- 活動的で素直で明るい
- 学年を越えて仲がよい
- 活用・記述問題に課題 ○主体的に学ぶ力、粘り強く取り組む力に課題

重点目標

確かな学力の定着

- ◎主体的・対話的に学ぶ授業
見方・考え方 ICT・タブレット活用
- ◎家庭学習（予習）と読書の充実
- ◎活用・記述問題への対策

豊かでしなやかな心の育成

- ◎集団・仲間づくりの推進
- ◎いじめの未然防止、早期対応
- ◎道徳・人権教育の充実

たくましく生きる力の育成

- ◎危機対応・回避能力の育成
- ◎体力向上の推進
- より良い生活習慣の確立

地域に開かれた学校

- ◎家庭・地域との連携充実
- ◎地域の人材や資源を生かした取組
- ◎町内の社会教育施設等との連携

具体的な取組

- 学習準備・学習規律等学びに向かう姿勢を徹底（学期アンケート）
- 「和歌山の授業づくり基礎・基本3か条」に基づき主体的・対話的で深い学びのある授業を研究する
- タブレット活用、実践事例の蓄積。
- 活用問題を組み込む単元づくり
- 授業での指導や家庭学習の手引きを基に、予習力を向上させる
- 朝読、読み聞かせ、家読等読書活動の質を上げる（読書記録）

- 目標や行動の基準を共有させ、安心して生活できる集団を作る
- 児童会、縦割り班、学級会等で、子供同士が関わる機会の充実
- いじめアンケートを学期ごとに実施し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める
- 道徳教育を充実し道徳性（判断力、心情、態度）を育成する
- 常に人権を大切にし意識を高める
- インクルーシブ教育システム（多様な学びの場）への取組

- 避難訓練や防犯教室、交通安全教室を行うとともに感染症対策の徹底等、危機対応・回避能力を育成する
- 体育授業で運動量を確保し、体育行事を充実させる
- 体育集会、年間を通じて市小ランを実施し体力の向上を図る
- 適切な端末等使用、ネットモラルを身につけ健康で安全な生活を送る。
- 「早寝、早起き、朝ごはん」等基本的な生活習慣を徹底する

- 便り、HP等を通して積極的に学校の情報を発信し、授業や行事等を積極的に公開する
- 地域活動へ参加し、できる限り交流の機会を持つ
- 読み聞かせボランティア、クラブ講師等の人材を生かした取組
- 地域の自然・文化を積極的に活用し、ふるさと学習を推進する
- 町内での社会教育施設や他の教育機関との連携を推進・充実する

指標

- ・学力調査結果が県平均以上
- ・授業楽しい・わかる（児童85%）
- ・外部資源活用（研究授業 校内研修）
- ・読書記録と活動の質的向上

- ・学校が楽しいと感じる（児童90%）
- ・いじめの解消率（児童100%）
- ・進んであいさつができる（児童90%）
- ・道徳指導計画の完全実施（100%）

- ・危機対応力の向上（児童90%）
- ・健やかな体の育成（保護者90%）
- ・メディアリテラシー（児童80%）
- ・早寝、早起き、朝ごはん（児童90%）

- ・家庭・地域との連携（保護者90%）
- ・町内で連携した取組や人材活用ができた（教師90%）
- ・ふるさと学習全学年1回以上実施

◎…特に重点的に取り組むこと